

平成28年度 部局長マネジメント方針

かわぐち せいじ
副市長 川口 誠司



私の決意

私は、平成23年11月に副市長に就任いたしました。それまでは、市職員として、危機管理、広報、経営企画等の分野に携わってまいりました。その経験を通じ、私は、副市長就任以来、何よりもまず市民の生命と財産を守ること、また、市民の皆さまに行政のことをよりわかりやすくお伝えし、理解と協力を得ること、この2つのことを常に念頭に置きながら職務に当たっております。

私が担当する部局は幅広く、また、副市長として市長のトップマネジメントを補佐し、市政全般にわたり政策を推進していく重責を担っております。各部局とも様々な課題がありますが、平成28年度に取り組む課題として、特に3点をあげます。

まず、災害への備えであります。本市におきましては、市民の皆さまの安全・安心を守るため、「地域防災計画」「東大阪市業務継続計画」を策定し様々な施策を実施しており、特に、本市の職員には高い防災意識を求めています。危機管理担当の職員や管理職はもとより、どのような部署や職位にあっても、いざというときにどのような行動を取るのか、常に意識しながら職務に当たり、日々の生活を送ることが必要です。先ごろの熊本地震では、様々な教訓が残されました。地域の皆さまや関係者の協力も得て、災害に強いまちをつくってまいります。

次に、行財政改革であります。昨年度からスタートした「東大阪市行財政改革プラン2015」に基づき、行財政改革を進めているところですが、来るべき人口減少時代や厳しい財政予測を考えますと、今後、市民の皆さまの新たなニーズに対応するためにも、より効果的で効率的な事務執行が必要であると考えております。

最後に、ラグビーワールドカップ2019花園開催に向けての取り組みであります。本市の将来にとって、ワールドカップの開催は、本市の経済活性化や全国、世界に向けて本市をアピールする空前にして絶後の好機であると認識しています。この機会を最大限に生かすべく、花園ラグビー場の改修や観光振興の取り組みなど、私が先頭となって進めてまいります。